

公益財団法人東京しごと財団委託事業 東京都補助事業

東京ジョブコーチ



CONTENTS

Customers
Voice

一般社団法人わんぱくSMILE
東京視覚障害者生活支援センター

お知らせ

平成30年4月1日から
障害者の法定雇用率が引き上げになります

2017.9
第11号

東京ジョブコーチ職場定着支援事業広報紙（年2回発行）

わんぱくすまいる保育園 園長 高田 浩美 様
 法人代表理事 今田 賢二 様



わんぱくすまいる保育園
 園長 高田 浩美 様
 平成 22 (2010) 年 8 月法人
 入職。松島園園長を経て、平成 28
 (2016) 年より現職。

自分が思ったことを 自分で考えて

行動できる保育園を目指します

一般社団法人わんぱく SMILE

【法人設立】

2008 年 11 月

【保育理念】

「一般社団法人わんぱく SMILE は自
 分の思ったことを自分で考えて行動でき
 る保育園を目指します」

【事業所】

・わんぱく SMILE 松島園 (認証)
 ・わんぱくすまいる保育園 (認可)

【所在地】

江戸川区

【URL】

<http://wanpaku-smile.ed.jp/>

貴法人の事業内容を教えてください。

今田様 (以下今) .. 当法人では、江戸川区内にて認可保育園と認証保育園の二つの保育園を運営しています。高田園長は、主に現場で保育と職員の人材育成を行っており、私は経営を担当しております。職員の人材育成という点では、一人ひとりの心技一体を目指して教育を行っております。二〇〇四〇代の職員が多く特に女性は仕事と子育てを両立しながら働く方が増えてきています。高田様 (以下高) .. 法人の理念は「子どもたちの未来のために生きる力を育む」、園の理念は「自分が思ったことを自分で考えて行動できる保育園を目指します」です。少しでも主体性を持ち自分の考えをどんな場所でも発信していける子、自信をもって生きていける子を育てたいという思いから、この保育園理念を掲げています。

法人名の由来を教えてください。

今 .. 「わんぱく」は、その言葉通り外で遊んでいる元気な子どもイメージです。子どもたちにたくましく成長してほしいという願いを込めました。また、自身の幼少期を思い返すと、親をはじめ学校の先生や地域の方など、周りの大人が子どもだった自分



法人代表理事
 今田 賢二 様

に対して、厳しくも温かく愛情豊かに接し、そこには皆の笑顔があった思い出がありません。その古き良き思い出もあわせて「すまいる」と名付けました。園児も保育士も親も、関わる人みんなが笑顔で過ごせる園にしたい、という思いを込めました。大人は子どもの鏡です。大人が大切に想って接していればその思いがはずれは子どもにも伝わります。子どもを大切に想う姿勢を職員とも共有していきたいと考えています。高 .. 当園では、人との違いを認め合う力を身につけることを目指しています。「あの子は、みんなと違うからどうせできないんだよね」ではなく、苦手なことがあっても「じゃあ、その子ができることは何だろう」という視点が育つよう日々子どもたちと関わることを大切にしています。知的障がいのある A さんを雇用し、育成にも尽力されている園長の姿勢に感銘を受け、今回の取材をご依頼しました。高 .. A さんが就職して三年目を迎えました (平成二九年五月時点)。法人として出来ることから進めていけたらいいね、という考えがスタートでした。雇用した以上は、責任をもち育成するともに、自分たちも育っていきたくいと思っております。A さんは幼少の頃から保育士になりたいという思いを抱いていました。ある時、ご縁があって当園で一週間実習をしていただくことになりました。実習中、A さんの園児との距離感、触れ方や声掛けの仕方がとても自然で優しく、正直なところとても驚きました。関わる様子から、子どもが大好きな気持ち伝わってきて、この様子を見て A さんに短時間から勤務して

もらうことを決めました。

仕事をどのように組み立てたのですか。

高…最初は、Aさんにとってわかりやすい清掃作業を中心に一〇項目位お願いしようと考え、作業手順をカード化して指示の工夫をしてみました。ただ、時間内に作業を終えるためには日々マンツーマンでサポートしないと難しいとわかったため、作業の種類を半分の五項目に減らしました。今では、Aさんが自分から「あの窓が汚れているので拭いてもいいですか」と聞いてくれる場面も見られます。まだ課題はありますが、もうAさんに任せても安心！という作業も増えてきており、日々の成長を感じます。広い園舎ですが、今はAさんのペースを進めてもらうようお願いしています。

当事業をご利用いただきがでしたか。

高…清掃作業の正確性をより高める目的のため、Aさんの卒業校である特別支援学校の先生の紹介により東京ジョブコーチ（以下TJC）に支援をお願いすることにしました。支援をきっかけに、朝の玄関周りや園児の靴箱の清掃、窓拭きを新たに担当してもらおうようになりました。TJCとAさんの会話の様子を拝見していると、TJCが和やかな雰囲気をつくりながら、Aさんに丁寧な作業を教えている様子がうかがえました。また、時にはAさんがTJCに意欲的に作業を教える場面も見られました。AさんにとってTJCとの人柄の相性も良く、支援をお願いする時期のタイミングとしても良かったと感じています。

今回、東京ジョブコーチ職場定着支援事業があることを初めて知りましたが、企業の方にも積極的に利用してもらいたいと感じ

Aさんの存在によって、また違った形で

園に利益や幸せが還元されていると思います

ました。
Aさんのご家族との連携はどのようにしていますか。

高…ご家族とは「ハッピーノート」と名付けた連絡帳を使い、その日の体調や日々の出来事について等、密な情報交換をしています。課題が生じた時は、ご家族をお呼びして面談をさせてもらうこともありました。ご家族にも同じ目線でAさんをサポートしてもらえるよう協力をお願いします。ご家族はAさんに対して「この園に就職できて良かったね」という声かけをいつもしてくださり、外部の方にもその喜びの声を発信してくれています。それが、雇用する園にとってもプラスになっていると思います。Aさんの存在によって、また違った形で利益や幸せが還元されています。

Aさんの雇用を通して感じたことをお聞かせください。

高…当初は、障がいのある方の雇用に対する不安が保護者の方の表情から感じられることもありました。けれど、私自身は、不安よりも何とか育てたい、きっとこの雇用が園にとってプラスになるはずだ、という想いを強くもち、今に至っています。

今では、Aさんの仕事ぶりに対して、職員はもとより保護者の方からも「助かっているよ。ありがとう！」という感謝の言葉をいただく機会が増えてきています。

保育士全員が障がいのある方と接する機会を経験しているとは限りません。職員も障がいのある方と関わる経験を通して、様々

な気づきや学びがあるでしょうし、例えば保育場面においても障がいのある園児が入園した時にはきっと活かされるはずだと考えています。

TJCが入ってくれたらその期間は全部TJCにお任せではなく、働き続ける環境の維持・向上のためにも雇用する事業所側の努力が大切です。雇用する側は、障がいのある方にただ仕事を任せるだけでなく「あなたがいるから助かっているんだよ」という評価をその人にわかりやすい表現で繰り返し伝えることで、本人のやりがいにつながっていくと思います。



右上：園内観

右：園外観

上：高田園長とエントランスにて
木の香りがするステキな保育園でした

東京視覚障害者生活支援センター 所長 長岡 雄 様
就労支援課長 石川 充英 様 機能訓練課 中津 大介 様



就労支援課長 石川 充英 様
昭和 61 (1986) 年入職。
平成 22 (2010) 年より現職。
社会福祉士・歩行訓練士。

東京視覚障害者生活支援センター

【開設】昭和 58 (1983) 年
当初から東京都の委託を受けていたが、平成 29 (2017) 年 4 月 1 日から「東京視覚障害者生活支援センター (TILS)」として民間委譲された。
【母体】社会福祉法人日本盲人社会福祉施設協議会
【事業】指定障害福祉サービス (機能訓練・就労移行支援) 事業所、指定特定相談支援事業所
【所在地】東京都新宿区
【URL】<http://www.tils.gr.jp/>

就職・復職に必要なパソコン操作の習得に加え、歩行訓練、日常生活のアドバイスなどを行える点は、当センターの大きな強みです

東京視覚障害者生活支援センター (以下 TILS) の事業内容を教えてください。

長岡様 (以下長) .. TILS は視覚に障がいのある方の更生施設として、昭和五八年に設立されました。平成二二年三月までは、更生施設として入所型・通所型を運営してまいりましたが、自立支援法における新体系への移行の段階で入所型のサービスを終了し、駅からのアクセスに恵まれた立地にあるため、通所による機能訓練事業 (日中活動) のみを行うことになりました。しかし、それだけで十分なのかという思いが常にありました。更生施設の運営当時は、訓練を終えるとそのまま送り出していました。もう一歩進んで就労に向けた訓練メニューを採り入れることで、日常的なスキルの獲得に加えて、就労時に必要なスキルが身に付けられるよう就労移行支援事業を始めることにしました。TILS の就労支援の特

徴は、事務職での就労を希望する方に加え、あん摩マッサージ指圧師の国家免許保有者の就労の支援を行っていることです。施術技術の維持向上のため、臨床の場を提供しています。就労移行支援で臨床を実施しているのは、全国的に珍しいと思います。どのような経緯で、TILS の利用につながる場合が多いのでしょうか。

石川様 (以下石) .. 福祉や医療の相談・支援機関やハローワークの方からのご紹介の他、TILS の WEB ページをご覧になり、直接お問い合わせをいただくこともあります。マッサージの場合は、卒業生の口コミもありません。また、職場の上司や同僚の方から勧められた方もおられます。より多くの方にご利用いただきたいと思っております。視覚障がいのある方の復職支援はどのように行っていますか。



所長 長岡 雄一 様
歩行訓練士

キルを身につけていただいただけではなく、企業の方の理解がとても重要になります。パソコンを使った業務について、ご本人、企業の方、私たち職員の三者で話し合い、支援機器の導入などの支援を行っています。長 .. TILS は視覚に障がいのある方のための更生施設として始まったので、就労支援課の職員も通勤や会社内の移動時に課題が生じた時の歩行訓練を行うことができず。さらに、職場生活や日常生活の不便さを改善するため、点字や視覚支援機器の使用方の訓練やアドバイスも行っています。仕事に必要なパソコン訓練だけではなく、日常生活面についても柔軟にカバーできる点は、当センターの就労移行の大きな強みであると自負しています。しっかりとサポートします、と企業に対して伝えられる点は大きな強みですね。

中津様 (以下中) .. 就職を希望される方の中には、まず日常生活上の訓練が必要な方もいらっしゃると思います。すぐに対応可能なアドバイスは就労移行支援の中でも可能ですが、基本的な訓練が必要な場合は機能訓練から受けていただくことをお勧めしています。



機能訓練課 生活支援員
臨床心理士
中津 大介 様

機能訓練課の職員の業務としては、訓練利用者の方との面接を行い、訓練を通して今後どうしたいのかという希望や、今の生活の中で実際どのようなことに困り、訓練を通してどのようにカバーして生きていきたいのか、と将来に向けた具体的な話し合いを行っています。中には、視覚だけでなく発達障がい等他の障がいを重複している方もいらつしやいます。必要に応じて、ご自宅を訪問したり通院同行させてもらったりすることもあります。また、私自身が臨床心理士の資格を有しているため、メンタルヘルスの視点から、気分の落ち込みや辛い方等に対して今の訓練や生活のリズムを整えるためのカウンセリングを行い、メンタルサポートを行うこともあります。他にも、不安が非常に強く不眠がちという方には、ボデイワークである呼吸法を用いて、体からメンタルヘルスにアプローチをする手法もとることがあります。

中津さんには、飲食店入社Bさんの職場定着支援に際し東京ジョブコーチ（以下TJC）と連携をとっていただきました。

中…サービス提供を行う支援機関では、ご

東京ジョブコーチは、職場環境に合わせて、その場で指導してくるので、
ご本人にとってもわかりやすかったと思います

本人が利用終了後も引き続き地域で生活することを前提とし、最初からコーディネート役であることを意識して支援していくことを大切にしています。今回のBさんは、就労支援課から提供を受けた求人情報で就職した方です。このような連携がとれるのもTILSならではの思いです。

Bさんの就職決定後、ご本人と一緒に職場に入りましたが、TILSで取り組んできたことと実際の働く環境の違いがわかり、ご本人と一緒に戸惑いを感じました。また、私たち職員が積極的にならざるを得ないのは限界があるため必要な役割を担える他機関を多く知っていることも大事な役割です。TJCとの連携はBさんが二人目でしたが、当初よりTJCには密に関わっていただけなので助かりました。職場の清掃作業場面においては、TJCより、モップのかけ方やトイレの掃除手順等、ご支援いただきました。場面に合わせたアドバイスをいただいたので、Bさんにとつてもわかりやすかったと思います。特に手厚い支援を要する就職初期に、TJCより、具体的な業務支援をいただいたこと、店長へ障がい特性や配慮点をわかりやすく伝えてもらえたこと等により、Bさんの長期的な就労安定につながったと思います。

ケース会議では、ご本人に関するアクセスメント情報をいただくことができたので、とても参考になりました。

中…私たち職員から「作業時、手元が暗そ

うなので、もう少し照明を明るくできますか」等、職場の方にご提案することもありますが、今回は事前にお伝えした情報をTJC支援に役立てていただきました。間接的にもご本人への支援になったので、とても助かりました。

当事業でも視覚障がいのある方への支援実績が少しずつ増えてきています。

石…TILSでは、就労移行支援の利用者はもちろん、機能訓練の利用者も含め、就職を希望されている方が一人でも多く就職し、定着できるよう支援をしてまいります。しかし、就労後や復職後には、いろいろな課題が生じると思います。その課題を解決する機関として利用者にTJCを紹介する等、より一層の連携を図っていきたいと思います。今後ともどうぞよろしくお願います。



TILSエントランスにて

平成30年4月1日から 障害者の法定雇用率が引き上げになります。

すべての事業主には、法定雇用率以上の割合で障害者を雇用する義務があります（障害者雇用率制度）。この法定雇用率が、平成30年4月1日から以下のように変わります。

事業主区分	法定雇用率	
	現行	平成30年4月1日以降
民間企業	2.0%	2.2%
国、地方公共団体等	2.3%	2.5%
都道府県等の教育委員会	2.2%	2.4%

またあわせて、下記の2点についてもご注意ください。よろしくお願いいたします。

留意点

①

対象となる事業主の範囲が、従業員45.5人以上に広がります。

留意点

②

平成33年4月までには、更に0.1%引き上げとなります。

詳しくは、厚生労働省・都道府県労働局・ハローワークのホームページをご参照ください。

表紙の絵：「私の理想の一人暮らし」倉光 紘太郎（くらみつ こうたろう）

1988年頃～ 自分が読んでいた本の内容や図鑑の写真などの影響を受け、小学生の頃から、鉛筆で自分で空想・想像した機械関係の詳細な設計図のような絵なども描くようになる。しばしば小さなメモ用紙にも描いていた。

1995年頃～ 高校の授業の時や部活動の時に習ったアクリル絵画で風景や抽象絵画などを描くようになる。

1999年 原因不明の治療困難な病気になり、これからは自分の人生において本当に美術活動を末永く続けることを決心する。この頃から次第に自分の内面や感情を凝集して表現したりユーモアがある独創的な絵画などを描き始めた。

2012年～ 福祉作業所に通いながら、狛江市ボランティアまつりのポスター用絵画を描いて採用される。以後、毎年応募して合計4回採用される。

2016年～ 就労しながら、これまでの絵画人生を活かし、展覧会に時々出展。自分の第二の仕事として本格的に美術活動にも取り組み、活躍の場を広げている。



倉光紘太郎さん
狛江市在住

Contact us

事業のご利用（支援依頼等）に関すること

東京ジョブコーチ支援室

〒160-0023 東京都新宿区西新宿8-3-39STSビル3階

TEL(03)5386-7057 FAX(03)5386-2227

Eメール tokyo-jc@ikuseikai-ky.or.jp

ホームページ <http://www.ikuseikai-ky.or.jp/~iku-tokyo-jc/>

事業全般、東京ジョブコーチに関すること

公益財団法人 東京しごと財団

障害者就業支援課 コーディネート事業係

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋3-10-3 東京しごとセンター8階

TEL(03)5211-2682 FAX(03)5211-5463

ホームページ <http://www.shigotozaidan.or.jp/shkn/>